

特別支援学校の教員の皆様へ

学校給食における対応や取り組みは地域や学校によって様々と推察され、平成 28 年度に学校給食の現状に関する全国調査をさせていただきました。貴校からはご協力をいただき、ありがとうございました。貴校から結果のフィードバック等のご希望を頂戴していたため、遅くなりましたが、結果の一部と給食指導で応用できる「食事前の訓練および食事介助簡易マニュアル」を同封させていただきました。

全国調査では多くのご回答をいただき、窒息事故の経験者が多いこと、給食指導に関して困っていることがわからない、困っていても対応するべきことがわからない、誰に相談したらよいかわからないなどの現状が把握できました。また、特別支援学校の教職員の方と関わる中で、教員免許取得時や学校に着任後にも給食指導に関する知識を得る機会が少なく、どのような場合に医療職へ相談したらよいか迷うなどのお話も伺い、より安全で効果的な給食指導ができるように教員の皆様が活用できるマニュアル作製が急務だと考えました。しかし、私たち歯科医療職だけの目線で作成しますと、無意識に専門用語を使用するなど教職員の方々がわかりにくい内容になる可能性も否定できません。そこで、前回の調査でフィードバック等のご希望のあった特別支援学校に所属される全教職員の方に率直なご意見等をお聞かせいただき、マニュアル作成に活用したいと考えました。今回、前回の調査で貴校からご回答いただきました教員数のアンケート調査用紙を返信用のレターパックと共に同封させていただきました。お忙しい中、恐縮ですがご協力の程、宜しく願いいたします。なお、勝手ながら、締め切りを3月31日とさせていただきます。郵送直前に、政府から新型コロナウイルス拡大予防のため3月2日から臨時休校の要請がありました。このような状況で年度内のご返信が難しい場合も想定されます。年度内に難しい場合でも構いませんので、多くのご回答を頂戴できますと幸いです。

皆様のご意見等を反映したマニュアルが完成したのちには、地域格差なく教育職と医療職が円滑な連携ができるように Web ページなども活用しながら多くの情報を発信したいと考えています。そこで、試験的に **“食事支援における医療機関と教育機関の連携に向けて”**(<http://spc.ce.cst.nihon-u.ac.jp/>)という Web ページを開設しました。現在、どなたでも見ていただけるようにオープンとしており、過去の特別支援学校での調査結果や給食指導で応用できる訓練法マニュアルなどを掲載しています(今回、その一部を同封しました)。今後は、教育職や医療職に登録していただくことで、動画を用いた e ラーニングや詳細な情報を発信しながら、相互のコミュニケーションができればと考えております。

そのためには、これらの調査結果を専門職種の学会等で発表し、さまざまところで学校給食での医教連携の重要性を発信していく予定にしております。無記名のため、回収後は学校や個人を特定できない状態での発表となります。発表に関してもご協力を頂戴できれば幸いです。

何かご不明な点がございましたら、いつでもご連絡を頂ければと存じます。なお、上記に示したページには、本調査内容に関しての知識や結果などを随時、掲載していく予定ですのでご興味のある方はぜひ、アクセスしていただければと存じます。この度はお忙しい中、ご協力をありがとうございます。

日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座主任教授 野本たかと
本研究実施責任者 猪俣英理・遠藤真美・地主知世
連絡先：千葉県松戸市栄町西 2-870-1
(TeL&Fax 047-360-9443)

アンケート調査は次のページからです。
本ページを切り取って、次ページ以降をご返信ください。

2. 食事の動作を示す用語に○をしてください。

(1) 食物を上下の唇で口の中に取り込む動き

- | | |
|----------|-------------|
| a. 嚥下 | d. 咀嚼 |
| b. 捕食 | e. わからない |
| c. 押しつぶし | f. その他➡ () |

(2) 舌の上の食物を舌と上顎(あご)で潰す動き

- | | |
|----------|-------------|
| a. 嚥下 | d. 咀嚼 |
| b. 捕食 | e. わからない |
| c. 押しつぶし | f. その他➡ () |

(3) 食物を上下の歯で粉碎し、それを唾液と共にまとめる動き

- | | |
|----------|-------------|
| a. 嚥下 | d. 咀嚼 |
| b. 捕食 | e. わからない |
| c. 押しつぶし | f. その他➡ () |

(4) 食物を飲み込む動き

- | | |
|----------|-------------|
| a. 嚥下 | d. 咀嚼 |
| b. 捕食 | e. わからない |
| c. 押しつぶし | f. その他➡ () |

3. 摂食嚥下障害の状況について、用語に○をしてください。

(1) 食べ物を飲み込む際に、あごと舌が一体となってガクガクと上下に動かして飲む状態

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| a. 嚥下反射の消失 | e. 窒息 | i. 丸のみ |
| b. 乳児(様)嚥下 | f. 誤嚥 | j. 食塊形成不全 |
| c. 逆嚥下 | g. むせ | k. わからない |
| d. 舌突出嚥下 | h. 鼻咽腔閉鎖不全 | l. その他➡ () |

(2) 食べ物を飲み込む際に、舌がうまく上にあがらず舌の奥(舌根)を押し下げて飲む状態

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| a. 嚥下反射の消失 | e. 窒息 | i. 丸のみ |
| b. 乳児(様)嚥下 | f. 誤嚥 | j. 食塊形成不全 |
| c. 逆嚥下 | g. むせ | k. わからない |
| d. 舌突出嚥下 | h. 鼻咽腔閉鎖不全 | l. その他➡ () |

(3) 食べ物を飲み込む際に、舌を前に出して飲む状態

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| a. 嚥下反射の消失 | e. 窒息 | i. 丸のみ |
| b. 乳児(様)嚥下 | f. 誤嚥 | j. 食塊形成不全 |
| c. 逆嚥下 | g. むせ | k. わからない |
| d. 舌突出嚥下 | h. 鼻咽腔閉鎖不全 | l. その他➡ () |

(4) 肺に異物が落ちるのを防ぐために、ゴホゴホと気管支が示す防御反応

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| a. 嚥下反射の消失 | e. 窒息 | i. 丸のみ |
| b. 乳児(様)嚥下 | f. 誤嚥 | j. 食塊形成不全 |
| c. 逆嚥下 | g. むせ | k. わからない |
| d. 舌突出嚥下 | h. 鼻咽腔閉鎖不全 | l. その他➡ () |

5. 給食指導および今後の展望に関するご意見をお願いします。

- (1) 給食指導を行う際に、必要な情報すべてに○をしてください。
- a. 食べる機能に関する知識
 - b. 給食指導での訓練法
 - c. 用語説明
 - d. その他：()
- (2) 給食指導において医療職との連携（医教連携）についてお聞きします。
- ① 医教連携は必要だと思いませんか。
- a. はい
 - b. いいえ
- ② (2) ①での回答に至った理由を教えてください。
-
- (3) 今後、教員であればパーソナルコンピューターやスマートフォンで無料登録後に情報を得てダウンロードなども簡便にできる Web ページやアプリケーション（いわゆるアプリ）によるデジタルでの情報発信を考えています。
- ① デジタルで発信された情報を学校現場で応用できると思いませんか。
- a. はい
 - b. いいえ
 - c. その他→ ()
- ② デジタルで情報発信されるようになった際、一度は体験してみたいですか。
- a. はい
 - b. いいえ
- ③ デジタルで得たい情報はどのようなものですか。すべてに○をしてください。
- a. 文字・イラストで構成された印刷できる形式のもの：PDF ファイルなど
 - b. 動画による解説など
 - c. アプリによる摂食機能の評価ツール：状況を回答することで指導法が導けるアプリ
 - d. 他の学校との Web 上での意見交換：Web 上の掲示板など
 - e. その他：()
- (4) “食事支援における医療機関と教育機関の連携に向けて” (<http://spc.ce.cst.nihon-u.ac.jp/>) という Web ページを開設しました。
- ① 本ページを御覧いただけましたか。
- a. 今は見ることはできない。または、見る時間がない。 → (5) へ
 - b. 見ようと試みたが、アクセスできなかった。または、見るができなかった。 → ② へ
 - c. 見る必要はない、見るつもりはない。 → (5) へ
- ② Web ページについてのご意見をお聞かせください。
-
- (5) その他、本調査にご意見があればご記入ください。

お忙しい中、ご協力をありがとうございました。